

この調査結果は、県のモニタリング調査によるものです。
「野生きのこ」は生育環境の違いにより放射性物質濃度にばらつきがあるため、出荷前の自主検査を徹底するなど、食品衛生法等関係法令に基づき、安全性を確認してから出荷するようお願いいたします。

令和7年度県産特用林産物放射性物質検査一覧表

森林ノミクス推進課

No.	採取月日	検査月日	公表月日	分類	品目		地域	市町村	検査結果			検査機関
									(単位:ベクレル/kg)			
									放射性セシウム			
									セシウム134	セシウム137	合計	
1	10月7日	10月10日	10月10日	菌茸類	マツタケ	野生	置賜	高畠町	ND(<8.1)	ND(<6.5)		日本環境科学
2	10月29日	11月4日	11月4日	菌茸類	マツタケ	野生	村山	上山市	ND(<8.2)	19	19	日本環境科学
3	11月20日	11月21日	11月21日	菌茸類	ナメコ	野生	村山	天童市	ND(<8.5)	ND(<6.7)		日本環境科学
4	11月20日	11月21日	11月21日	菌茸類	ナメコ	野生	村山	天童市	ND(<8.0)	ND(<6.0)		日本環境科学

注)「ND(not detected=不検出)」とは、放射性物質が検出下限値未満であることを示すもの。
()内は「検出下限値」。「検出下限値」とは、検査機器で測定できる最小の値。「<(セシウム134、セシウム137の値)」で表示。